

課題名：大型－巨大破裂脳動脈瘤の転帰予測因子と最適な治療法の解明

◆研究の目的と概要◆

本研究は、クモ膜下出血についての転帰不良の因子を調べています。高知大学を含む多施設のくも膜下出血登録研究（POST-SAH 研究）に一部追加したデータを用いて、大型－巨大破裂脳動脈瘤の治療方法を含めた転帰規定因子を明らかにし、今後のよりよい診療を行うことを目的としています。

◆対象となる患者さん◆

2000年1月から、2019年12月までの間に、くも膜下出血であると診断され当院に入院された方のうち、破裂動脈瘤の最大径が10mm以上の方。

◆研究に使用される情報◆

病歴、患者背景、頭部CT、CTアンギオ、転帰、動脈瘤ネックサイズ、血栓化、再破裂の有無、選択された治療法、その治療法の合併症、機能的予後

◆研究方法◆

上記の情報資料を、患者さんの氏名などがわからないようにしたうえで、下記機関に対し電子的配信（パスワード管理）で提供します。

◆主な共同研究機関及び研究責任者◆

高知大学医学部附属病院 福田医師が主体となって実施しており、全国10施設が参加しています。

主体のホームページ http://www.kochi-u.ac.jp/kms/ct_clrsc/optout/nogeka.htm

-
- * 研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる情報は利用しません。
 - * 本研究に関するお問い合わせや、カルテ情報の利用についてご了承いただけない場合、以下の問い合わせ先までメールでご連絡ください。

【問い合わせ先】

公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院

脳神経外科 研究責任者 沈正樹

E-mail: kenkyu★kchnet.or.jp（臨床研究センター）

（★を@に変換して使用してください）

この研究課題で利用する残余検体・診療情報等の利用については、医の倫理委員会によって「社会的に重要性が高い研究である」等の特段の理由が認められ、実施についての承認が得られています。

※【問い合わせ先】では、次の事項について受け付けています。

- 研究計画書および研究の方法に関する資料の閲覧（又は入手）ならびにその方法
（他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護等に支障がない範囲内に限られます。）
- 研究対象者の個人情報についての開示およびその手続
- 研究対象者の個人情報についての利用目的の通知
- 研究対象者の個人情報の開示、訂正等、利用停止等について、請求に応じられない場合にはその理由の説明